

# 特 別 会 計

◇◇◇ 国民健康保険事業特別会計 ◇◇◇

歳入決算額	33,782,017 千円
歳出決算額	32,736,972 千円
差引残額	1,045,045 千円

国民健康保険は、被用者保険等の他の医療保険制度に比べ低所得者や高齢者の加入割合が高いという構造的問題を抱え、医療費は被保険者の高齢化や近年の医療技術の高度化に伴い増加傾向にある。

現在、国民健康保険の財政運営は都道府県単位化され、市町村は「国民健康保険事業費納付金」を都道府県へ納める仕組みとなっている。

令和5年度は、収納率向上や医療費適正化に向けた対策を引き続き進めることで、財政の健全化に努めた。

# 歳 入

## (1款) 保険料 (1項) 保険料

国民健康保険料の収入状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	還 付 未済額 (再掲)	収 入 未 済 額	収 納 率		
						5 年 度	4 年 度	
						対調定	対調定	
一 般 分	医療給付費現年賦課分	4,082,609	4,223,401	4,052,877	7,909	167,726	96.0	95.5
	後期高齢者支援金現年賦課分	1,159,198	1,218,932	1,170,652	2,287	47,455	96.0	95.6
	介護納付金現年賦課分	415,860	443,559	423,380	917	19,857	95.5	95.0
	医療給付費滞納繰越分	147,110	584,770	124,677	89	405,402	21.3	19.3
	後期高齢者支援金滞納繰越分	41,524	164,303	35,258	22	113,989	21.5	19.4
	介護納付金滞納繰越分	18,015	76,964	14,712	3	55,948	19.1	17.3
	計	5,864,316	6,711,929	5,821,556	11,227	810,377	86.7	87.1
退 職 分	医療給付費現年賦課分	0	0	0	0	0		
	後期高齢者支援金現年賦課分	0	0	0	0	0		
	介護納付金現年賦課分	0	0	0	0	0		
	医療給付費滞納繰越分	333	789	334	0	252	42.3	12.7
	後期高齢者支援金滞納繰越分	78	216	94	0	66	43.5	13.1
	介護納付金滞納繰越分	91	178	79	0	66	44.4	14.7
	計	502	1,183	507	0	384	42.9	13.1
合 計	医療給付費現年賦課分	4,082,609	4,223,401	4,052,877	7,909	167,726	96.0	95.5
	後期高齢者支援金現年賦課分	1,159,198	1,218,932	1,170,652	2,287	47,455	96.0	95.6
	介護納付金現年賦課分	415,860	443,559	423,380	917	19,857	95.5	95.0
	医療給付費滞納繰越分	147,443	585,559	125,011	89	405,654	21.3	19.2
	後期高齢者支援金滞納繰越分	41,602	164,519	35,352	22	114,055	21.5	19.4
	介護納付金滞納繰越分	18,106	77,142	14,791	3	56,014	19.2	17.2
	合 計	5,864,818	6,713,112	5,822,063	11,227	810,761	86.7	87.1

### (3款) 国庫支出金 (1項) 国庫補助金

国庫補助金の収入状況は、次のとおりである。

区 分	補 助 率	補助金受入額	備 考
保健事業費国庫補助金	-	729 千円	
保険給付費補助金	-	990 千円	
総務費国庫補助金	-	242 千円	
合 計		1,961 千円	

### (4款) 県支出金 (1項) 県補助金

県補助金の収入状況は、次のとおりである。

区 分		補助金受入額	備 考
保険給付費 等交付金	普 通 交 付 金	22,618,631 千円	
	特 別 交 付 金	741,474 千円	
合 計		23,360,105 千円	

### (5款) 財産収入 (1項) 財産運用収入

本年度は、国民健康保険財政調整積立基金の預金利息として12千円の収入があった。

### (6款) 繰入金 (1項) 一般会計繰入金

本年度は、財政安定化支援事業として487,292千円、保険基盤安定負担金として1,912,109千円、事務費等として621,282千円、福祉医療波及分として107,481千円など、合計3,128,164千円を一般会計より繰り入れた。

保険基盤安定負担金に係る繰入金財源内訳	国	県	市	計
	339,899 千円	1,094,183 千円	478,027 千円	1,912,109 千円

### (6款) 繰入金 (2項) 基金繰入金

本年度は、国民健康保険財政調整積立基金から100,000千円を繰り入れた。

### (7款) 繰越金 (1項) 繰越金

前年度からの繰越金は、1,276,575千円であった。

### (8款) 諸収入 (3項) 雑入

雑入70,536千円は、第三者納付金54,745千円や返納金10,435千円がその主なものであった。

## 歳 出

### (1款) 総務費 (1項) 総務管理費

ウォーキングや各種健診等の受診、日々の生活習慣改善活動などにインセンティブを付与し、市民の健康づくり活動を支援するため、医療費適正化特別対策費のうち、くるめ健康のびのびポイント事業として8,931千円を支出した。

### (1款) 総務費 (2項) 徴収費

本年度は、滞納処分をするために必要な預貯金等調査を電子化する費用939千円を含む105,209千円を賦課徴収費として支出した。

### (2款) 保険給付費 (1項) 療養諸費

療養諸費の主な支出状況は、次のとおりである。

項 目	診療件数 (件)	費用額 (千円)	保険者 負担額 (千円)	被保険者1人当たり 費用額 (円)		被保険者1人当たり 診療件数 (件)	
				5年度	4年度	5年度	4年度
療養給付費	1,117,697	26,384,368	19,385,397	453,581	416,751	19.22	17.96
療 養 費	27,575	245,122	182,597	4,214	4,100	0.47	0.45
計	1,145,272	26,629,490	19,567,994	457,795	420,851	19.69	18.41

## (2款) 保険給付費 (2項) 高額療養費

高額療養費の支出状況は、次のとおりである。

区 分	件 数	高額療養費支給額※	支給決定額	1件当たり 高額療養費支給額	
				5年度	4年度
一般被保険者分	48,103件	3,031,549千円	3,037,042千円	63,022円	67,604円
退職被保険者等分	0件	0千円	0千円	-	-
計	48,103件	3,031,549千円	3,037,042千円	63,022円	67,604円

※高額療養費支給額は返還金を除いた金額

## (2款) 保険給付費 (4項) 出産育児諸費

出産育児一時金等の支出状況は、次のとおりである。

金 額	備 考
95,037千円	出生1人当たり支給額500千円※

※産科医療補償制度未加入の医療機関で出産した場合は、488千円

## (2款) 保険給付費 (5項) 葬祭諸費

葬祭費の支出状況は、次のとおりである。

金 額	備 考
10,140千円	1件当たり支給額30千円

## (2款) 保険給付費 (6項) 傷病手当金

新型コロナウイルス感染症に罹患し給与が得られなかった人等に対し、傷病手当金を436千円支給した。

## (3款) 国民健康保険事業費納付金 (1項) 医療給付費分

国民健康保険事業費納付金のうち医療給付費分として、一般被保険者分6,404,354千円、退職被保険者分334千円を支出した。

## (3款) 国民健康保険事業費納付金 (2項) 後期高齢者支援金等分

国民健康保険事業費納付金のうち後期高齢者支援金等分として、一般被保険者分1,991,777千円、退職被保険者分78千円を支出した。

### (3款) 国民健康保険事業費納付金 (3項) 介護納付金分

国民健康保険事業費納付金のうち介護納付金として、692,042千円を支出した。

### (5款) 保健事業費 (1項) 特定健康診査等事業費

特定健康診査等事業費として、196,899千円を支出した。

区 分	受診者・終了者数	受診率・実施率
特定健康診査	14,599人	37.3%
特定保健指導	319人	19.9%

※速報値

### (5款) 保健事業費 (2項) 保健事業費

はり、灸及びあん摩マッサージ施術事業費として8,582千円を支出した。

また、糖尿病治療中断者への受診勧奨や、早期介入保健指導及びデータヘルス計画策定の費用を含む3,823千円をCKD（慢性腎臓病）対策事業費として支出するとともに、CKD啓発事業として1,065千円を支出した。

## ◇◇◇ 競輪事業特別会計 ◇◇◇

歳入決算額	34,034,568 千円
歳出決算額	33,495,583 千円
差引残額	538,985 千円

本年度は、競輪業界全体としてインターネット投票が好調だったことに加え、前年度より7日間多く開催できたことから、前年度と比較し売上が約60億円増となった。

### 歳 入

#### (1款) 競輪事業収入 (1項) 競輪事業収入

車券発売 32,439,273 千円、入場料等 6,647 千円、合計 32,445,920 千円を収入した。

#### (2款) 財産収入 (1項) 財産運用収入

他市貸与料 33,000 千円、売店使用料等 2,868 千円、利子及び配当金 115 千円、合計 35,983 千円を収入した。

#### (3款) 繰越金 (1項) 繰越金

前年度からの繰越金は 704,140 千円であった。

#### (4款) 諸収入 (2項) 受託事業収入

受託場外委託料等 596,907 千円を収入した。

#### (4款) 諸収入 (3項) 雑入

サテライト北九州・サテライト中洲場外発売業務委託料預り金等 251,618 千円を収入した。



## 歳 出

### (1款) 総務費 (1項) 総務管理費

久留米市営競輪の開催や車券発売に必要な施設管理のほか、選手育成強化の支援やサイクルファミリーパークの運営を助成するとともに、競輪場再整備に向けた基金積立を行った。

○負担金・補助及び交付金	999,173 千円
・全国競輪施行者協議会負担金	303,760 千円
・(公財) J K A 交付金	678,013 千円
・久留米地区選手の育成・強化支援	1,450 千円
・サイクルファミリーパーク運営補助金	10,000 千円
○公課費(消費税)	15,740 千円
○修繕料	23,847 千円
○積立金	1,228,198 千円

### (2款) 事業費 (1項) 事業費

車券売上の向上のために新聞やSNS等での広告等を実施し、全国の競輪場・専用場外発売所での臨時場外発売の展開や、インターネット投票拡大に取り組んだ。

○報償費	861,432 千円
・選手賞金	859,068 千円
○広告料	66,894 千円
・中野カップGⅢ	27,712 千円
・万博協賛GⅢ	5,664 千円
○委託料	1,506,372 千円
・施設清掃委託料	103,607 千円
・場内警備委託料	101,955 千円
・実況テレビ等放映委託料	149,067 千円
・ファンサービス業務委託料	54,142 千円
・投票業務機器保守等総合運用委託料	356,788 千円
・競輪競技実施委託料	354,290 千円
・受託場外委託料(サテライト北九州・中洲)	242,558 千円
○使用料及び賃借料	170,104 千円
・ファンバス借上料	22,349 千円
・施設借上料(サテライト久留米、宿泊施設)	27,917 千円
・投票業務発売集計装置機器等借上料	82,173 千円

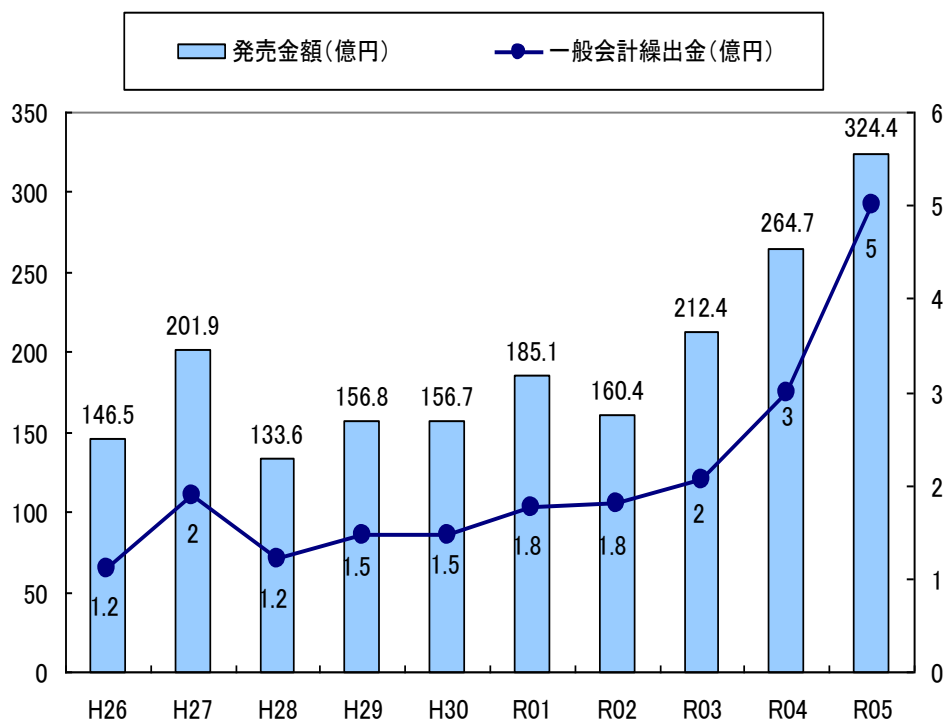
○償還金・利子及び割引料 ・的中車券の払戻金	24,236,498 千円 24,236,498 千円
○委託料（臨時場外経費）	3,545,431 千円

**（3款）諸支税金（1項）一般会計繰出金**

本年度開催による収益金のうち 500,000 千円を一般会計に繰り出した。

○一般会計繰出金	500,000 千円
----------	------------

**\*\* 車券発売金額及び一般会計繰出金の推移 \*\***



◇◇◇ 卸売市場事業特別会計 ◇◇◇

歳入決算額	350,492 千円
歳出決算額	336,052 千円
差引残額	14,440 千円

本事業は、生鮮食料品・花木等の流通の円滑化及び食生活の安定に資するとともに、集分荷機能の充実、取引の適正化を推進するため、中央卸売市場、地方卸売市場水産物部及び地方卸売市場田主丸流通センターの管理運営の健全化、施設の維持管理に努めた。

また、青果棟屋根改修工事や青果部卸売場箱樋防水改修工事等の施設の長寿命化対策を実施したほか、令和5年7月の大雨により被災した田主丸流通センターの一部復旧を行った。

## 歳 入

歳入は、売上高使用料 30,649 千円、施設使用料 104,399 千円、一般会計繰入金 105,000 千円、繰越金 15,818 千円、諸収入 51,526 千円及び市債 43,100 千円である。

## 歳 出

歳出は、施設管理費等 186,850 千円、施設整備費 37,141 千円及び公債費 112,061 千円である。

(1) 本年度における市場施設整備事業債の償還状況は、次のとおりである。(単位：千円)

区 分	公 債 償 還 額			令和5年度末 未償還額
	元 金	利 子	計	
市場施設整備事業債	105,953	6,108	112,061	655,253

(2) 前年度との取扱高比較は次のとおりである。(単位：トン、千円、%)

区 分	中央卸売市場(青果部)		地方卸売市場水産物部		地方卸売市場 田主丸流通センター (花き部)	
	取扱量	取扱金額	取扱量	取扱金額	取扱量	取扱金額
令和4年度	25,099	6,528,489	2,317	3,387,115	13,526	328,609
令和5年度	24,929	6,649,388	2,299	3,646,498	11,306	274,799
増 減	▲170	120,899	▲18	259,383	▲2,220	▲53,810
増 減 率	▲0.7	1.9	▲0.8	7.7	▲16.4	▲16.4

◇◇◇ 市営駐車場事業特別会計 ◇◇◇

歳入決算額	76,036 千円
歳出決算額	66,830 千円
差引残額	9,206 千円

久留米市営駐車場である広又駐車場、小頭町公園駐車場及び東町公園駐車場については、指定管理者制度による管理運営を行うとともに、JR久留米駅西口駐車場については、施設管理委託を行うなど、市民サービスの向上、管理運営コストの縮減及び経営の健全化に努めた。

## 歳 入

歳入の主なものは、JR久留米駅西口駐車場の施設使用料 54,459 千円、駐車場の修繕に伴う基金繰入金 8,007 千円、繰越金 10,458 千円、指定管理者からの納付金 3,105 千円である。

## 歳 出

歳出の主なものは、漏水配管修繕 726 千円、JR久留米駅西口駐車場管理業務委託料 5,111 千円、市営駐車場整備基金への積立金 39,542 千円、JR久留米駅西口駐車場整備にかかる公営企業債元利償還金 14,079 千円である。

なお、本年度における駐車場の利用状況は、次のとおりである。

区 分		広 又 駐 車 場	小頭町公園駐車場	東町公園駐車場
収 容 台 数		15 台	100 台	92 台
主な料金	一 般 駐 車	60 分ごとに 100 円	60 分ごとに 100 円	40 分ごとに 100 円
		入庫から 12 時間 までは 500 円	入庫から 10 時間 までは 500 円	入庫から 6 時間 までは 500 円
	月 極 駐 車	—	1 月 9,420 円	1 月 15,700 円
利 用 実 績	台 数	延 14,456 台	延 46,724 台	延 59,399 台
	1 日 平 均	40 台	128 台	163 台

区 分		J R 久留米駅西口駐車場
収 容 台 数		254 台
主な料金	一 般 駐 車	60 分ごとに 100 円
		入庫から 24 時間 までは 500 円
	月 極 駐 車	1 月 10,180 円
利 用 実 績	台 数	延 87,414 台
	1 日 平 均	239 台

## ◇◇◇ 介護保険事業特別会計 ◇◇◇

歳入決算額	28,578,079 千円
歳出決算額	28,439,738 千円
差引残額	138,341 千円

団塊の世代が75歳以上となる令和7年の本市の姿を見据え、「高齢者が住み慣れた地域で支え合い、自分らしく安心していきいきと暮らし続けられるまち」の実現を目指して、医療・介護、介護予防、住まい、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの深化・推進を図るため、第8期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に基づき、介護保険事業の円滑な実施と安定的な運営に努めた。

具体的には、保険給付の適正な実施に努めるとともに、在宅医療・介護の連携推進や介護サービス事業者への支援などに取り組んだ。

また、認知症対策として、認知症初期集中支援チームの運営、認知症早期発見・早期対応に向けた支援、オレンジ協力隊を養成し、社会全体で支える仕組みづくりを開始するとともに、認知症カフェの活動支援を行った。

### 歳 入

#### (1款) 保険料 (1項) 介護保険料

介護保険料の収入状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	還 付 未 済 額	収 入 未 済 額	収 納 率	
						5 年 度 対 調 定	4 年 度 対 調 定
現 年 賦 課 分	5,878,977	5,878,004	5,859,456	12,761	18,242	99.7	99.6
滞 納 繰 越 分	21,387	70,256	12,442	0	37,929	17.7	21.4

### (3款) 国庫支出金 (1項) 国庫負担金

国庫負担金の収入状況は、次のとおりである。

区 分	負担率	負担金受入額	備 考
介護給付費負担金	20/100	5,156,789 千円	施設等分の負担率は 15/100

### (3款) 国庫支出金 (2項) 国庫補助金

国庫補助金の収入状況は、次のとおりである。

区 分	補助率	補助金受入額	備 考
調整交付金	5.03/100	1,356,167 千円	
地域支援事業交付金 (介護予防・日常生活支援総合事業)	20/100	90,489 千円	
地域支援事業交付金 (包括的支援事業・任意事業)	38.5/100	31,647 千円	
保険者機能強化推進交付金	-	33,521 千円	評価指標に基づく県からの 配分により補助額が決定
保険者努力支援交付金	-	45,060 千円	
介護保険事業費補助金	-	6,500 千円	
合 計		1,563,384 千円	

### (4款) 支払基金交付金 (1項) 支払基金交付金

支払基金交付金の収入状況は、次のとおりである。

区 分	負担率	交付金受入額	備 考
介護給付費交付金	27/100	7,171,742 千円	
地域支援事業支援交付金	27/100	126,300 千円	
合 計		7,298,042 千円	

### (5款) 県支出金 (1項) 県負担金

県負担金の収入状況は、次のとおりである。

区 分	負担率	負担金受入額	備 考
介護給付費負担金	12.5/100	3,648,105 千円	施設等分の負担率は 17.5/100

#### (5款) 県支出金 (2項) 県補助金

県補助金の収入状況は、次のとおりである。

区 分	補助率	補助金受入額	備 考
地域支援事業交付金 (介護予防・日常生活支援総合事業)	12.5/100	56,555 千円	
地域支援事業交付金 (包括的支援事業・任意事業)	19.25/100	15,824 千円	
合 計		72,379 千円	

#### (7款) 繰入金 (1項) 一般会計繰入金

本年度は、介護給付費市負担金として 3,347,518 千円、地域支援事業費市負担金として 69,491 千円、低所得者保険料軽減負担金として 361,575 千円、事務費等として 622,335 千円、合計 4,400,919 千円を一般会計より繰り入れた。

#### (7款) 繰入金 (2項) 基金繰入金

本年度は、不足する給付費の補填等として 189,250 千円を介護給付費準備基金より繰り入れた。

#### (8款) 繰越金 (1項) 繰越金

前年度からの繰越金は、371,359 千円であった。



## 歳 出

### (1款) 総務費 (4項) 趣旨普及費

高齢者支援パンフレットの作成費用 2,816 千円など、3,511 千円を支出した。

### (2款) 保険給付費 (1項) 介護サービス等諸費

介護サービス等諸費の支出状況は、次のとおりである。

区 分	件 数	給 付 額
居宅介護サービス給付費	228,419 件	9,855,345 千円
地域密着型介護サービス給付費	43,564 件	8,622,090 千円
施設介護サービス給付費	17,944 件	5,020,687 千円
居宅介護福祉用具購入費	779 件	27,200 千円
居宅介護住宅改修費	677 件	57,080 千円
居宅介護サービス計画給付費	82,701 件	1,216,052 千円
合 計	374,084 件	24,798,454 千円

### (2款) 保険給付費 (2項) 介護予防サービス等諸費

介護予防サービス等諸費の支出状況は、次のとおりである。

区 分	件 数	給 付 額
介護予防サービス給付費	29,000 件	516,095 千円
地域密着型介護予防サービス給付費	970 件	81,157 千円
介護予防福祉用具購入費	312 件	9,447 千円
介護予防住宅改修費	395 件	39,509 千円
介護予防サービス計画給付費	21,594 件	98,009 千円
合 計	52,271 件	744,217 千円

### (2款) 保険給付費 (3項) 高額介護サービス等費

高額介護サービス等費の支出状況は、次のとおりである。

区 分	件 数	給 付 額
高額介護サービス費	53,835 件	651,787 千円
高額介護予防サービス費	330 件	854 千円
高額医療合算介護サービス費	2,943 件	94,035 千円
高額医療合算介護予防サービス費	39 件	200 千円
合 計	57,147 件	746,876 千円

## (2款) 保険給付費 (4項) 特定入所者介護サービス等費

特定入所者介護サービス等費の支出状況は、次のとおりである。

区 分	件 数	給 付 額
特定入所者介護サービス費	16,307 件	475,957 千円
特定入所者介護予防サービス費	27 件	85 千円
合 計	16,334 件	476,042 千円

## (2款) 保険給付費 (5項) 市町村特別給付費

市町村特別給付費の支出状況は、次のとおりである。

区 分	延べ利用者数	給 付 額
介護用品支給事業	4,210 人	12,365 千円

## (2款) 保険給付費 (6項) 諸費

諸費の支出状況は、次のとおりである。

区 分	件 数	支 出 額
審査支払手数料	450,467 件	16,848 千円

## (3款) 地域支援事業費 (1項) 介護予防・生活支援サービス事業費

旧介護予防訪問介護等により提供されていた専門的なサービスや、緩和した基準によるサービス、要支援者等の生活支援のニーズに対応するサービスの提供を行った。

介護予防・生活支援サービス事業費の支出状況は以下のとおりである。

区 分	支 出 額
第1号訪問・通所事業	363,776 千円
高額総合事業サービス費事業	1,020 千円
介護予防ケアマネジメント事業	52,216 千円
合 計	417,012 千円

## (3款) 地域支援事業費 (2項) 一般介護予防事業費

高齢者が要介護状態になることを予防するため、介護予防に関する教室の開催や、介護予防の普及啓発に取り組んだ。

一般介護予防事業費の支出状況は以下のとおりである。

区 分	支 出 額
介護予防把握事業	3,300 千円
介護予防普及啓発事業	16,611 千円
地域リハビリテーション活動支援事業	1,608 千円
合 計	21,519 千円

### (3款) 地域支援事業費 (3項) 包括的支援事業・任意事業費

入退院調整ルールの利用や在宅医療・介護連携センターの設置、患者の意思を在宅療養関係者で共有できるフォーマット「私の生き方ノート」などによる在宅医療と介護の連携推進を図った。また、認知症予防講座やもの忘れ予防検診を実施するなど、認知症早期発見・早期対応に向けた支援に取り組むとともに、認知症初期集中支援チームの運営、認知症の方やその家族を社会全体で支える仕組み「チームオレンジ」の取組、認知症カフェの活動支援を行った。

さらに、緊急通報システム機器の貸与による高齢者の生活安全確保や成年後見制度利用に係る経費の補助を行うことにより利用促進に努めた。

加えて、「ケアプランチェック」を行うことにより、介護サービスの質の確保と適正化を図った。また、介護人材育成と職員定着率の向上に資するための事業者支援事業として、介護事業所向けに研修や意見交換会等を行った。

包括的支援事業・任意事業費の支出状況は、次のとおりである。

区 分	支 出 額
在宅医療・介護連携推進事業	26,759 千円
認知症総合支援事業	11,106 千円
地域ケア会議推進事業	1,464 千円
給付適正化事業	5,581 千円
介護サービス事業者支援事業	1,188 千円
家族介護教室の開催	1,005 千円
家族介護継続支援事業	600 千円
成年後見制度利用支援事業	6,932 千円
福祉用具・住宅改修支援事業	130 千円
認知症サポーター等養成事業	675 千円
地域自立生活支援事業（介護相談員派遣事業）	2,427 千円
地域自立生活支援事業（高齢者配食サービス事業）	4,551 千円
地域自立生活支援事業（緊急通報システム貸与事業）	12,872 千円
認知症高齢者見守り事業	133 千円
合 計	75,423 千円

### (4款) 基金積立金 (1項) 基金積立金

介護給付費準備基金積立金として、118,650 千円を支出した。

### (6款) 諸支出金 (2項) 一般会計繰出金

社会福祉法の改正を踏まえた重層的支援体制整備事業の実施に伴い、一般会計へ移行した事業の保険料相当額（法定繰出分）として 109,168 千円を一般会計に繰り出した。

## ◇◇◇ 農業集落排水事業特別会計 ◇◇◇

歳入決算額	286,318 千円
歳出決算額	275,072 千円
差引残額	11,246 千円

本事業は、農業用水の水質保全と機能維持や農村環境の改善を図ることを目的としており、排水処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、令和5年7月の大雨により被災した南部浄化センター排水施設の一部復旧を行った。

### 歳 入

歳入は、受益者分担金 1,800 千円、施設使用料 77,174 千円、一般会計繰入金 189,000 千円、繰越金 10,379 千円、諸収入 264 千円、国庫補助金 1,901 千円及び市債 5,800 千円である。

### 歳 出

歳出は、総務管理費 33,859 千円、施設管理費 98,364 千円、公債費 137,489 千円及び施設災害復旧費 5,360 千円である。

#### ◇継続費の状況

年 度	計 画 額	執 行 済 額	事 業 繰 越 額
令和5年度	22,200 千円	5,360 千円	16,840 千円
令和6年度	33,077	/	/
合 計	55,277	5,360	/

#### ◇整備状況

地 区 名	整備区域面積	計画人口	供用開始日
田主丸	三明寺・善院地区	31.7 ha	平成10年3月30日
	柴刈地区	59.5	平成16年3月30日
	富本・隈・西郷地区	55.1	平成25年3月31日
北野	赤司地区	25.3	平成10年5月1日
	南部地区	21.5	平成12年3月29日
計	193.1	9,770	

## ◇水洗化普及状況

令和5年度末 水洗化可能戸数	(A)	1,981 戸
令和4年度末 水洗化済戸数	(B)	1,710 戸
令和5年度中 水洗化済戸数	(C)	17 戸
令和5年度末 水洗化済戸数	(B) + (C) = (D)	1,727 戸
水洗化率	(D) / (A) = (E)	87.2%

◇◇◇ 特定地域生活排水処理事業特別会計 ◇◇◇

歳入決算額	190,461 千円
歳出決算額	177,998 千円
差引残額	12,463 千円

本事業は、水質汚濁の原因である生活排水を適正に処理し、快適で豊かな生活を営むことを目的としており、合併処理浄化槽の整備及び適正な維持管理に努めた。

歳 入

歳入は、受益者分担金 957 千円、浄化槽使用料 94,155 千円、国庫補助金 7,851 千円、県補助金 423 千円、一般会計繰入金 69,000 千円、繰越金 12,364 千円、市債 5,700 千円及びその他 11 千円である。

歳 出

歳出は、総務管理費 18,487 千円、施設管理費 104,340 千円、施設建設費 14,427 千円及び公債費 40,744 千円である。

◇計画の概要

地 区 名	整備区域面積	計画人口	供用開始日
城島地区	1,758.0 ha	14,000 人	平成 13 年 5 月 25 日

◇令和 5 年度の整備状況

5 人槽	3 基	8～10 人槽	0 基	21～30 人槽	0 基
6～7 人槽	3 基	11～20 人槽	0 基	31～50 人槽	0 基
				計	6 基

◇合併処理浄化槽整備状況

整備目標基数	3,200 基
令和 5 年度末までの整備基数	1,768 基
整備率	55.3 %

◇◇◇ 後期高齢者医療事業特別会計 ◇◇◇

歳入決算額	4,931,928 千円
歳出決算額	4,779,138 千円
差引残額	152,790 千円

本事業は、制度の運営主体である福岡県後期高齢者医療広域連合との役割分担に基づき、保険料の徴収、保険給付の申請受付等の業務を実施した。

歳 入

(1款) 保険料 (1項) 保険料

後期高齢者医療保険料の収入状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	還付未済額 (再掲)	収入未済額
現 年 賦 課 分	3,684,756	3,562,171	3,552,938	11,574	9,233
滞 納 繰 越 分	7,107	39,676	12,630	0	21,807
計	3,691,863	3,601,847	3,565,568	11,574	31,040

(3款) 繰入金 (1項) 一般会計繰入金

本年度は、広域連合事務費負担金として 114,238 千円、保険基盤安定負担金として 1,029,465 千円、事務費等として 91,721 千円、合計 1,235,424 千円を一般会計より繰り入れた。

保険基盤安定負担金に係る繰入金財源内訳	国	県	市	計
		772,098 千円	257,367 千円	1,029,465 千円

(5款) 諸収入 (4項) 受託事業収入

保健事業費受託事業収入として 14,242 千円を収入した。

## 歳 出

### (1款) 総務費 (2項) 徴収費

後期高齢者医療保険料の徴収に係る費用として12,653千円を支出した。

### (2款) 後期高齢者医療広域連合納付金 (1項) 後期高齢者医療広域連合納付金

4,660,619千円を納付金として福岡県後期高齢者医療広域連合に納付した。

内 訳	金 額
保険料負担分	3,516,916千円
広域連合事務費分	114,238千円
保険基盤安定負担分	1,029,465千円
計	4,660,619千円

### (3款) 保健事業費 (1項) 保健事業費

後期高齢者保健事業に係る費用として10,144千円を支出した。





## 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計



歳入決算額	235,197 千円
歳出決算額	109,648 千円
差引残額	125,549 千円

本事業は、20歳未満の子どもを扶養するひとり親家庭及び寡婦等に母子父子寡婦福祉資金の貸付を行うことにより、経済的な自立支援などを図ることを目的としている。そのため、修学資金や就学支度資金などの貸付を実施し、ひとり親家庭等の生活安定を図ることにより、その子どもの福祉の向上に努めた。

### 歳 入

歳入は、貸付金元利収入 67,555 千円、繰越金 163,797 千円、その他 3,845 千円である。

### 歳 出

歳出は、貸付金 35,848 千円、貸付事業事務費 1,190 千円、国への償還金 52,403 千円、一般会計繰出金 20,207 千円である。

#### ◇母子父子寡婦福祉資金貸付状況

資 金 区 分	件数	金額 (千円)
事 業 開 始	0	0
事 業 継 続	0	0
修 学	41 (19)	14,995
技 能 習 得	0	0
修 業	0	0
生 活	26 (23)	7,473
就 学 支 度	28 (28)	12,530
住 宅	0	0
就 職 支 度	1 (1)	330
転 宅	2 (2)	520
医 療 介 護	0	0
結 婚	0	0
計	98 (73)	35,848

(件数・金額とも新規申込分と継続分の合計。件数の( )書きは新規申込分)

◇◇◇ 産業団地整備事業特別会計 ◇◇◇

歳入決算額	26,900 千円
歳出決算額	26,238 千円
差引残額	662 千円

自動車や食品、バイオ・医療関連分野をはじめとした地域経済を支える産業の集積を進め、雇用創出の受け皿となる産業団地を整備するため、令和5年度は、用地取得に向けた地権者との交渉等を行った。

## 歳 入

歳入は、一般会計繰入金 1,000 千円、市債 25,900 千円である。

## 歳 出

歳出は、産業団地整備事業費 25,979 千円、公債費 259 千円であり、その内訳は以下のとおりである。

○産業団地整備事業費	25,979 千円
・産業団地整備委託料	25,740 千円
○公債費	259 千円
・公債利子	259 千円